

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
1	3番 中村純子（一問一答）			
	1. 公共施設の整備について			
	①	根上フラワーセンター、勤労青少年ホーム、根上ゲートボール場の廃止について	廃止決定に至った経緯と機能の代替措置をどのように考えているのか。	産業交流部長
	②	根上パークゴルフ場等周辺整備について	整備を進めるにあたり、地元そして若い人達の声を十分取り入れるべきと思うが、市はどのような配慮をするのか問う。	教育長
	2. 宅地開発計画について			
	①	今後の宅地確保計画について	根上フラワーセンター等の廃止後の跡地は宅地にするという案もあると聞いているが、今後どれだけの宅地や住宅数の確保を計画しているのか。	企画振興部長
	②	空き家利用について	空き家も宅地、住宅数に含めるべきであると考えているが、市外在住の空き家所有者に対し、どのように住宅需要などの情報提供及び相談対応をするのか。	土木部長
	3. 困難な環境の子どもへの支援について			
	①	能美市の児童虐待受付対応件数について	子育て支援センターで対応している児童虐待の受付対応件数の過去3年間の推移、虐待内容、傾向を問う。	健康福祉部長
	②	児童虐待防止対策事業の実績について	児童虐待防止対策事業として実施している「母子ケース検討会・虐待進行管理会議」や「親子の絆サポート事業」などの事業実績を問う。	健康福祉部長
	③	長期化するコロナ禍の影響について	児童虐待受付や相談において、長期化するコロナ禍の影響はなかったか。	健康福祉部長
	④	ヤングケアラーへの対応について	最近新たに問題化されている「ヤングケアラー」に対し、相談体制や人材育成など、また、問題が複雑で多方面の連携が必要となるが、今後どのように取り組むのか市の考えを問う。	市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
2	2番 荒井昌宏（一問一答）			
	1. 自衛消防団の現状について			
	①	現在保有する能美市の消防力について	消防団が全国的に減少している中、現在保有する能美市の消防力。具体的には、消防団員数や職員数、消防車両の台数について問う。	消防長
	②	現在の消防力でどれくらいの規模の火災に対応できるか	現在の保有する消防力でどれくらいの規模の火災に対応できるのか。また、消火活動中に別の場所で新たな火災が発生した場合も対応できるのかを問う。	消防長
	③	自衛消防団との支援協定の締結について（1）	具体的にどのような時に自衛消防団が出動し、どのような活動を行うのかを問う。	市長
	④	自衛消防団との支援協定の締結について（2）	将来的には、防災にも活動範囲を広げて地域住民主体の自主防災活動への取組を考えているのかを問う。	総務部長
	2. 小規模事業者向け支援について			
①	小規模事業者が参加できる応援特典券などの支援ができないか	市内の小規模事業者が参加できる、過去3回実施した「のみ応援特典券」が市全体の地域経済に効果があると考えているが、4月以降の小規模事業者への支援体制について、見解を問う。	産業交流部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
3	4番 澤田 貞（一問一答）		
	1. 適正な土地利用の規制と誘導について		
	①	第2次能美市総合計画に求めること 能美市の目指すべき将来像として、地域生活拠点の具体的な整備方針を問う。	市長
	②	立地適正化計画の取組について 都市再生特別措置法の改正により、立地適正化計画制度が創設されたが、その取組について問う。	土木部長
	③	都市計画マスタープランについて 将来都市構想に位置付けられた快適居住ゾーンの整備開発方針を問う。	土木部長
	④	快適居住ゾーン内の整備 能美市における目指すべき都市の将来像を踏まえ、佐野町と泉台町に跨る通称：佐野山の適正な土地利用方針を問う。	土木部長
	2. 移住・定住の促進		
	①	UIJターン・移住定住について 移住定住促進協議会と、ふるさと回帰支援センターとの連携について問う。	企画振興部長
	3. 千載一遇のチャンス		
	①	健全で持続可能な行財政について 健全な財政を堅持するため、特に自主財源確保と財政基盤の強化策について問う。	総務部長
	②	ふるさと寄付金推進事業について ふるさと納税については、年々多くの寄付金が寄せられているが、その用途を問う。	企画振興部長
	③	のみブランドについて のみブランドの認証及び販路開拓、返礼品対応や物販施設の整備を問う。	産業交流部長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
4	15番 近藤啓子（一問一答）			
	1. 新年度予算について			
	①	市長の政治姿勢を問う	7本の柱と5つの方針・目的ですべてを移住定住の促進につながる予算編成としている。コロナ禍で住民の暮らしも営業も落ち込み、貧困と格差が拡大している。「住民の暮らしと命を守る」方向へシフトした予算編成にすべきでないか。	市長
	2. 官製談合問題について			
	①	職員の採用と対応について	自衛隊を定年退職後、正規職員として採用されることはありうるのか。また、なぜ任期付き職員に入札に関与する権限まで与えたのか。	総務部長
	②	官製談合のチェック機能について	官製談合へのチェック機能がなぜ働かなかったのか伺う。	総務部長
	③	第三者調査機関の立ち上げで市民に納得いく説明を	庁舎内での「官製談合再発防止対策検討委員会」を立ち上げ、原因究明、類似案件等の調査、現状分析を行うとしている。内部での調査だけでなく、第三者調査機関の立ち上げで徹底説明と再発防止への取組をすすめるべきでないか。同時に市民へ納得のいく説明が必要と考えるがどうか。	副市長
	3. F15戦闘機墜落問題について			
	①	訓練再開の安全性について	基地司令は「事故原因が断定でなく推定でも訓練の再開もありうる」としているが、墜落の原因が解明され、それに基づく機体の整備がされてこそ、安全な飛行訓練につながるのではないか。事故原因の解明がない中での飛行は認められないと考えるが見解を聞く。	市長
	②	住民との合意について	事故原因と再発防止対策について、行政や議会、住民にも納得いく説明の機会を求めていくべきでないか伺う。	市長

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者
5	9番 仙台謙三（一問一答）		
	1. 気象庁との連携による地域防災力の強化について		
	①	自然災害の予測と避難情報について 自然災害時の予測と避難情報の発令については、住民の的確かつ迅速な避難行動に結びつける事が肝要である。能美市として、どのような取組を行っているか。	市長
	②	気象防災アドバイザーの活用について 自治体の防災の現場で即戦力となる者として、気象庁が委嘱した「防災の知見を兼ね備えた専門家」である「気象防災アドバイザー」の活用について、市の見解を問う。	総務部長
	③	キキクルの周知と活用推進について 気象庁のホームページに掲載の、天候の影響による危険度分布図を示す機能「キキクル」は、雨雲状況の他、「土砂災害」、「浸水害」、「洪水害」を切替え表示できるもの。スマートフォン等の位置情報機能を活用して、自身のいる場所の「キキクル」を確認する事で、避難行動等への備えを行う際の一助になると考え、その周知と活用の推進を求める。	総務部長
2. 带状疱疹ワクチン接種への助成について			
①	带状疱疹ワクチンの接種への助成を行え 日本人成人の9割以上が、带状疱疹の原因となるウイルスが体内に潜伏している。50歳代から発症率が高くなり、80歳までには3人に1人が带状疱疹を発症すると言われている。ワクチン接種により、90%以上の確率で予防できるとの事で、助成制度がある事自体が、市民にとっての安心感につながり、ワクチン接種への助成も手厚い福祉のまち能美市という評価も高まる。助成事業を行え。	健康福祉部長	

発言順	議席番号・質問者・質問項目及び要旨		答弁予定者	
6	1番 中野廣志(一問一答)			
	1. 「安全安心のまちづくり」について			
	①	通学路のカラー舗装で安全確保せよ	市内において歩道部がなくカラー舗装されていない小学生の通学路は全てカラー舗装を実施し、児童に対する安全安心のまちづくりへの取組を図れ。	市長
	②	外国人への交通安全啓発	市内では、令和3年12月に外国人の死亡事故が発生している。外国人居住比率が県内トップの能美市として、企業やショッピングセンター近隣の電柱広告を利用し、外国人向けに外国語での交通安全の啓発を実施せよ。	市民生活部長
	③	カーブミラー設置基準の新設について	現在、市ではカーブミラー設置についての設置基準が策定されていない。市民に分かりやすい設置基準を設定し、設置の不可を明確にする必要があると考えるが、設置基準の新設に対する見解を問う。	市民生活部長
	2. 窓口業務におけるデジタル化の推進状況について			
①	コンビニ交付サービス等の効果と今後の普及展開方針	コンビニ交付サービスは、開始から6年が経過、行政証明書交付サービス、行政証明書窓口受付システムは開始から1年が経過している。それぞれの効果の検証と課題、今後の普及展開方針を問う。	市民生活部長	